

新刊紹介



やさしくわかるカーボンニュートラル
～脱炭素社会をめざすために知っておきたいこと～

小野崎正樹 著／小野崎理香 絵

2023年4月13日発行 技術評論社 B5変形判 定価：1,800円＋税10%

昨今、カーボンニュートラルに関する本が巷に溢れている。しかし、次世代を担う青少年が興味を持ち、読んで分かる本は見当たらない。そんな不満から、子供たちが手に取り、読み易いように、カラーのイラスト満載で作上げたのが本書である。

著者が籍を置くエネルギー総合工学研究所では、著者を含む研究者が、一般の方々を対象にして「図解でわかるカーボンニュートラル」などの啓発本を編集、執筆してきた。その時に、読者からは、「丁寧に書かれていて役に立つ」や「リファレンスブックとして最適」とのコメントと同時に「字が多い」、「イメージが伝わらない」、「何をすればいいのか分からない」などのご指摘をいただいた。子供たちだけではなく、大人の皆さんにも理解していただくのは難しいのかと感じた。

その時から、カーボンニュートラルの世界は、青少年が将来に生きる世界であり、その主人公に理解される本を作りたいと考えてきた。そのために、イラストを主体として、可愛いウサギとカエルのキャラクター達が、誰しもが持つ疑問を投げかけ、フクロウが答える構成を考えた。例えば、再生可能エネルギー(再エネ)の解説の後には、「太陽や風がないときはどうするの?」との質問に対して、揚水発電、蓄電池、燃料変換などを説明する。また、「日本はエネルギーをこれからも安心して輸入できるの?」に対しては、地政学的な視点から再エネを元にしたエネルギーの輸入とシーレーンの重要性を説明している。

幸いにも、娘がイラストレータであり、「イラストは引き算で作る」との彼女の持論に基づき、必要最小限の核心の情報は何かを議論した。その結果として、極力、シンプルな分かり易いイラストを描き下ろしてもらった。

化学工学は、カーボンニュートラルの幅広い分野に貢献する学問である。化学工学を専攻してエンジニアリング業界に身を置いて来た者として、要素技術をシステムとしてまとめて目的を達成する重要性を身に染みて感じてきた。カーボンニュートラルはまさに打って付けの命題である。次の世代の青少年にも、カーボンニュートラルを上辺の言葉だけではなく、それに必要な技術と、システムとして組み立てられた世界観を持ってもらいたいと願ってきた。この本がその一助となれば幸いである。

どうか、2050年のカーボンニュートラルの世界に活躍するご子息・ご息女や親戚の方々、学生や生徒たち、そして、先の本は難しく途中で投げ出してしまった大人の方々に是非とも薦めていただきたい。

((一財)エネルギー総合工学研究所 小野崎正樹)